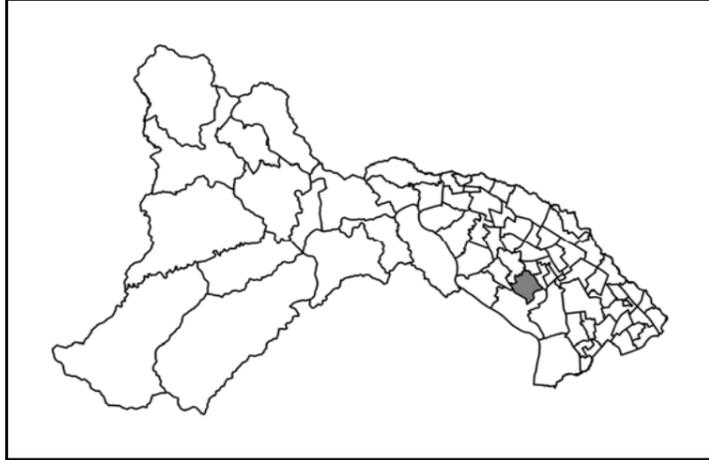


○地区を構成する町丁

【中央区】上溝

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

上溝(自治会法人丸崎, 自治会法人虹吹, 自治会法人番田諏訪面, 自治会法人本久, 自治会法人田尻)

○地区概況

道保川、姥川、鳩川が北西から南東の方向に流れており、川沿いは地盤が低くなっている。地区の北東端に沿って段丘崖がある。主要な道路として県道46号相模原茅ヶ崎線、県道508号厚木城山線が南北方向に通っており、西端沿いに国道129号がある。またJR相模線が縦断しており、番田駅がある。北部は住宅地が多いが、南部は農地あるいは空地が多い。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)	
	区分	棟数		
建物	木造(昭和55年以前)	701 棟		
	木造(昭和56年以降)	1,752 棟		
	非木造(昭和55年以前)	112 棟		
	非木造(昭和56年以降)	402 棟		
	合計	2,967 棟		
人口	区分		人口(人)	
	区分	人数		
	0~4歳	579 人		
	5~64歳	8,164 人		
	65歳以上	2,253 人		
合計	10,996 人			

○所見

- ・地区内に河川が3本あり、避難する際に河川を横断することが多い。
- ・河川沿いの低地に住宅地がある。特に姥川、鳩川沿いの低地に住宅が多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	番田交番
消防署	上溝分署
消防団詰所	番田, 丸崎・虹吹
病院等	
主な災害時要援護者施設	レインツリー, NPO法人クライム, レモンハイツA, ポプリの里・ハーブの里, ニチイケアセンター上溝, 医療法人社団小松会 介護老人保健施設 清泉
幼稚園、保育園	南上溝保育園, ふじ第二保育園, けやきの子幼稚園
学校、大学	上溝南小学校, 県立上溝南高等学校
避難所	※上溝南小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	県立上溝南高等学校
防災備蓄倉庫	上溝南小学校, ※県立上溝南高等学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

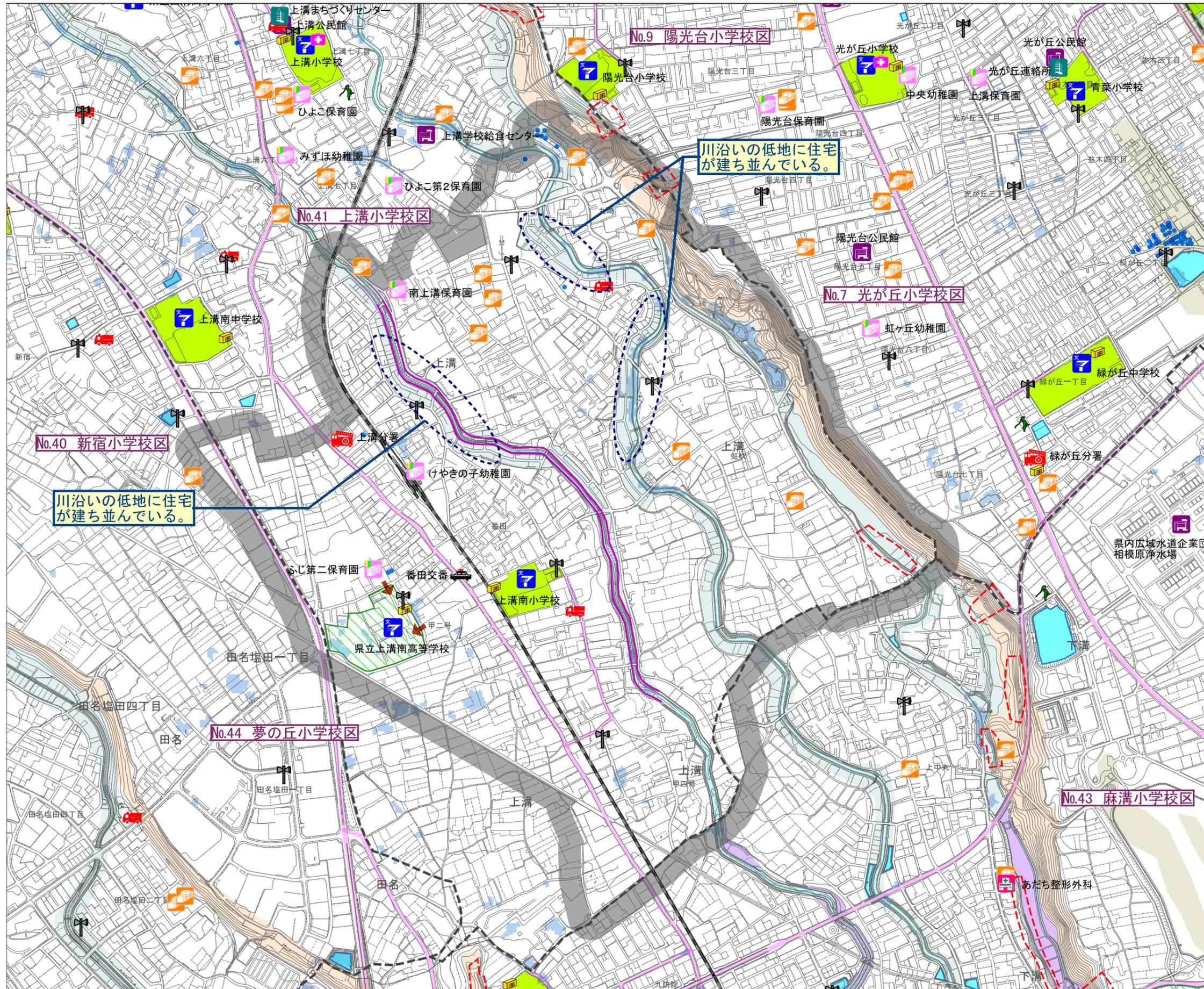
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	139 棟	4.7 %	44 棟	1.5 %	22 棟	0.7 %
建物焼失	25 棟	0.9 %	1 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	9 人	0.1 %	3 人	0.0 %	1 人	0.0 %
閉込者	49 人	0.4 %	16 人	0.1 %	8 人	0.1 %
重傷者	10 人	0.1 %	3 人	0.0 %	2 人	0.0 %
軽傷者	61 人	0.6 %	35 人	0.3 %	25 人	0.2 %
避難所避難者(当日)	401 人	3.6 %	149 人	1.4 %	87 人	0.8 %
避難所避難者(1週間後)	968 人	8.8 %	621 人	5.7 %	478 人	4.3 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成 3年 9月19日 床下浸水1戸、床上浸水3戸
平成12年 9月12日 床下浸水5戸、床上浸水1戸
平成12年 9月16日 床下浸水1戸



凡例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:10000

